

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社 KMO
大阪府立大学
大阪市立大学

KNOWLEDGE CAPITAL
ナレッジキャピタル



学校を超える、自分も超える ナレッジキャピタル超学校
大阪府立大学・大阪市立大学×KNOWLEDGE CAPITAL
「グローバル化する公立大学 ～その実践と方法～」開校決定
第1回は両大学の学長対談が実現！

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)ならびに株式会社 KMO(代表取締役社長:三好 雅雄)、大阪府立大学(学長:辻 洋)、大阪市立大学(学長:荒川 哲男)は、「ナレッジキャピタル超学校 大阪府立大学・大阪市立大学 × KNOWLEDGE CAPITAL 『グローバル化する公立大学 ～その実践と方法～』」の開校を決定しましたのでお知らせします。

ナレッジキャピタル超学校は、一般生活者と研究者が一緒に考え、対話するプログラムです。会議室での授業形式ではなく、開放感のあるカフェ空間でドリンクを片手に受講できるのが特徴で、2015年度は約50の講座を開催し、毎回多くの方に参加いただきました。

今回は、大阪府立大学と大阪市立大学がコラボレーションし、「グローバル化する公立大学 ～その実践と方法～」をテーマに、全4回の講座を開催します。

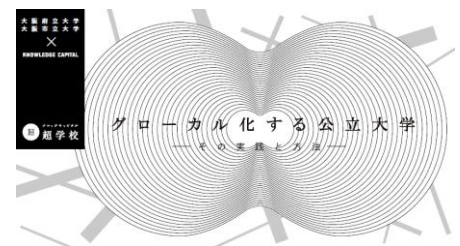


第1回に登壇される大阪府立大学 辻学長(左)と、
大阪市立大学 荒川学長(右)

第1回目は両大学長による放談により、両大学の個性と大阪を活性化するための取り組みをご紹介します。第2回目以降も両大学と企業から講師をお招きし、新しい産学の研究やイノベーションの生み出し方等をお話いただきます。

<開催概要>

日 程 : 【第1回】2017年1月19日(木) 【第2回】2017年2月16日(木)
【第3回】2017年2月27日(月) 【第4回】2017年3月10日(金)
時 間 : 19:00~20:30(開場 18:30)
会 場 : グランフロント大阪北館1F「カフェラボ」
料 金 : 500円(1ドリンク込み)
対 象 者 : 高校生以上
申 込 先 : ナレッジキャピタル HP (<http://kc-ijp/>)より要事前申込 (各回先着50名)



※ナレッジキャピタル超学校 とは

大学や企業、研究機関などのさまざまな分野の研究者と一般参加者が一緒に考え、対話するナレッジキャピタルならではのプログラムです。これまでも「京都大学 iPS 細胞研究所」「大阪大学」「関西大学」「慶應義塾大学院メディアデザイン研究科」「国立民族学博物館」「大阪芸術大学」「JAXA」などと共同開催し、一般の参加者と研究者をつなぐ場と機会を提供しています。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:奥村 亜紀 電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者12社の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと、株式会社KMOにおいて運営しています。

<シリーズ概要>

大阪府立大学と大阪市立大学は開学以来、大阪の地域とともに歩んできました。近年では更に地域連携、産学連携、国際連携を一体化し発展させるために、ローカルを起点にグローバルに発信するグローバルな取り組みを進めています。

今回は、地域の信頼拠点としての両大学の、新しい産学の研究やイノベーションの生み出し方、さらに人材の育て方などを対談形式でお聞きします。

両大学それぞれの「個性」と、目指す「共通性」を感じながら、府・市民の皆さまと大学のつながりを考えます。

■第1回 2017年1月19日(木) 19:00~20:30

「府大・市大学長放談～両学長に聞く、大阪活性化のためのグローバルな取り組み～」

講師：辻 洋（大阪府立大学 学長）

1953 年生まれ。高校時代に先輩の「これからは知識産業」という講演を聴き、システム科学の分野を学ぶ。1978 年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。1978 年(株)日立製作所入社(～2002 年)。この間、米国カーネギーメロン大学客員研究員やスタンフォード日本センター客員研究員を歴任し、2002 年大阪府立大学大学院工学研究科教授。2013 年理事(教育研究担当)・副学長。2015 年より公立大学法人大阪府立大学理事長・学長。専門領域は経営情報システム。博士(工学)、技術士(情報工学)。海釣り、家庭菜園、川柳などを楽しむ。愛犬はスピッツ(16 歳)。



講師：荒川 哲男（大阪市立大学 学長）

1950 年、大阪府生まれ。大阪市立大学医学部を卒業後、第三内科に入局。専門は消化器内科。博士課程に進学し「胃酸でなぜ胃が溶けないのか」という疑問から、胃粘膜防御機構の解明に取り組む。海外での研究生活や国際学会での活動で、国内外に多くの人脈を築く中で、基礎研究や臨床試験を主導的に実施し、世界的な業績を挙げている。大阪市立大学大学院医学研究科長、一般財団法人ものづくり医療コンソーシアム理事長、一般財団法人全国医学部長病院長会議会長の職を経て、2016 年より公立大学法人大阪市立大学理事長兼学長。他にカリフォルニア大学アーバイン校、アリゾナ大学、香港中文大学客員教授。



【内容】

荒川学長は消化器が専門で最近「笑顔あふれる知と健康のグローバル拠点構想」で大阪市立大学をリードしており、大阪府立大学の辻学長は経営情報システムが専門で、システム発想型物質科学リーディング大学院やアントレプレナー教育に力を入れています。両学長の専門の話を導入に使いながら、大阪を活性化するために両大学が取り組んでいる内容を紹介します。

■第2回 2017年2月16日(木) 19:00~20:30

「目は口以上に物を言う～眼球運動解析とその学習、医療分野への応用～」

講師：黄瀬 浩一（大阪府立大学大学院工学研究科 知能情報工学分野 教授） （大阪府立大学文書解析・知識科学研究所 所長）

1986 年大阪大学工学部通信工学科卒。1988 年同大学院工学研究科博士前期課程了。同年同大学院博士後期課程入学。1990 年大阪府立大学工学部電気工学科助手。現在、同大学院工学研究科教授。博士(工学)。2000 年～2001 年ドイツ人工知能研究センター客員教授。2013 年度より日本学術振興会学術システム研究センター研究員、文書画像解析、情報検索、画像認識などの研究に従事。



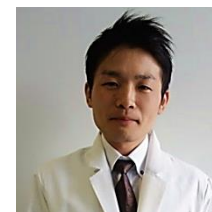
講師：上間 裕二（株式会社ジェイアイエヌ JINS MEMEグループ リーダー）

2008 年慶應義塾大学理工学部物理情報工学科卒業。2010 年同大学院メディアデザイン研究科修士課程修了。2013 年同大学院メディアデザイン研究科博士課程単位取得退学。2013 年 4 月～2015 年 3 年慶應義塾大学大学院研究員。2015 年 4 月株式会社ジェイアイエヌ入社。スマートアイウェアの技術研究・開発に従事。



講師：大畑 裕紀（大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科 医師）

2011年順天堂大学医学部卒業。2013年順天堂静岡病院 初期研修修了。同年大阪市立総合医療センター 脳神経外科勤務。2014年大阪市立総合医療センター 小児脳神経外科勤務。2015年大阪市立大学大学院医学研究科に入学。守口生野記念病院 脳神経外科勤務を経て、2016年から大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科にて脳腫瘍、てんかん、血管障害など脳神経外科全般を専門に従事。



【内容】

最新のセンシング技術を用いて詳細に目の動きを観察すると、人の心的・内的状態、能力、健康など、さまざまな情報が得られることがわかってきました。「目は口ほどに物を言う」とはよく聞く諺(ことわざ)ではありますが、実は、目は口以上に物を言うのです。

本講義では、工学者、企業研究者、医学者がタッグを組んで、アイトラッカやJINS MEMEに代表される眼球運動解析デバイスについて紹介したのち、その学習や医療分野への応用についてお話します。

■第3回 2017年2月27日(月) 19:00~20:30 「大学の研究・企業の研究」

講師：中沢 浩（大阪市立大学大学院理学研究科 物質分子系専攻 教授）

1952年生まれ。1981年広島大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)。米国ユタ大学博士研究員、広島大学助手、同助教授、分子科学研究所助教授を経て2002年より現職。専門は錯体化学、有機金属化学。著書にヒューイ無機化学(訳)、有機金属化学、無機化学演習などがある。2009年文部科学大臣表彰、2015年日本化学会化学教育賞、2016年錯体化学会賞を受賞。



講師：西木 良一（EAファーマ株式会社 製品戦略部部長）

1965年生まれ。1989年京都府立大学農学部森林学科卒業、同年イーザイ株式会社入社。大阪・埼玉支店での営業販売部門、2003年同社本部プロモーション部門を経て、2017年より現職。2004年~2009年獨協医科大学越谷病院消化器内科研究生、2011年~2013年大阪市立大学消化器内科学外研究員。



【内容】

大学で行う研究と企業で行う研究は、目的、アプローチの仕方、求められる結果など、異なる部分が多々あります。しかし、その根底には人類への貢献という共通部分があります。大学で長年研究に携わってきた講師と企業の研究から得た物質を販売してきた講師という立場の異なる2人が、それぞれの立場から実践例を挙げながら研究とは何か、また研究を通して何を学ぶのか、産学連携はどうあるべきか、などについて語ります。

■第4回 2017年3月10日(金) 19:00~20:30 「大阪湾の環境~その現状と将来像~」

講師：大塚 耕司（大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科 現代システム科学専攻 教授）

大阪府立大学大学院工学研究科博士前期課程船舶工学専攻修了後、大阪府立大学大学院工学研究科助手、講師、助教授、教授を経て、2016年4月から現職。1993年博士(工学)の学位を取得。主に大阪湾をフィールドとして、閉鎖性海域の環境修復技術に関する研究、海陸一体型バイオマス有効利用システムに関する研究などに携わり、2013年9月、瀬戸内海環境保全功労者表彰(議長表彰)受賞。(一社)生態系工学研究会理事、(一社)大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム理事、(一財)大阪府漁業振興基金理事



講師：重松 孝昌（大阪市立大学大学院工学研究科 都市系専攻・河海工学分野 教授）

大阪市立大学大学院工学研究科前期博士課程土木工学専攻修了後、大阪市立大学大学院工学研究科助手、講師、助教授を経て、2010年4月から現職。1999年博士(工学)の学位を取得。港湾海域の環境修復に資する技術に関する研究、都市域における複合水災害と防災・減災に関する研究、波力発電システムの開発・研究などに携わっている。土木学会海岸工学委員会沿岸域研究連携推進小委員会委員長、(一社)生態系工学研究会会長、(一社)大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム理事



【内容】

大阪府立大学と大阪市立大学がこれまで実施してきた、大阪湾の環境調査や環境修復技術に関する研究成果を踏まえ、大阪湾の環境の変遷と現状について解説するとともに、生態系サービスという視点から大阪湾の持つさまざまな価値について考察し、その価値を向上させるための方法について議論します。さらに、人口や産業構造、漁業などの現在の動態を踏まえ、大阪湾の将来環境の考え方について紹介します。

【施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階～3階
	フューチャーライフショールーム	1階～6階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階～8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	9階～13階
	コンベンションセンター	地下1階～地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事 宮原 秀夫 株式会社 KMO 代表取締役 三好 雅雄	
開発事業者 (五十音順)	NTT 都市開発株式会社 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 新日鉄興和不動産株式会社 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店 東京建物株式会社 日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社 三井住友信託銀行株式会社 三菱地所株式会社	